

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190100240		
法人名	医療法人長生会		
事業所名	ケアホームひょうたん島		
所在地	佐賀県佐賀市久保田町大字久富2852番地		
自己評価作成日	令和7年3月4日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市天神一丁目4番15号		
訪問調査日	令和7年3月26日	外部評価確定日	令和7年4月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の健康管理、疾病予防、発病時の対応については、関連医療機関との連携により万全を期しています。地域の行事に参加し、交流を深めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

閑静な住宅地の一角にあるグループホームである。自然も多く、安全に散歩もできるような環境がある。母体が医療法人であり、協力医との連携は24時間体制が取れている為、体調が悪くなっても、重度になっても、最期まで慣れ親しんだ場所で安心して過ごせるようになっている。 職員は利用者一人ひとりの状態に合わせて、嗜好や希望を聞きケアを行っている。長く働いている職員も多く、利用者とも馴染みの関係ができており、要望を聞いてあげたい、叶えてあげたいと思う気持ちから細かい対応も行っている。職員間の関係も良いだけでなく、管理者との関係も良好な様子が伺えた。
--

1/15

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	定期的な会議で理念を繰り返し伝え、全職員が共有し実践できるようにしている。	理念は開設当初より変わっていない。事務所とリビングに掲示されている。毎月の会議に限らず、利用者のケアについて話し合う時や日常の業務の中でも、管理者は理念を踏まえて意識してもらうよう促している。職員にも繰り返し伝えることで、理念の浸透やケアに生かされていると感じている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩の途中で挨拶をしたり、声かけを行っている。また回覧板などに記載されている町内の催事に参加やボランティア慰問の受け入れを行っている。 地域の班長を務めたりして交流に努めている。	地域の方とは、散歩などで会う際にできるだけ声をかけるようにしている。4月の川掃除にも毎年参加し、コロナ禍では地区の班長を務める事もあった。住宅地の一角にある為、回覧板も回って来る。近くの住民の方からは、畑の野菜や花を頂くこともある。以前は地区の行事にも参加していたが、現在は参加できていない。今後は以前のように参加していきたいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	在宅で認知症の人の介護に取り組んでいる家族からの相談に応じて、認知症の人の理解を促して具体的な支援の方法を指導している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在コロナウイルス感染予防のため開催できていないが、以前は運営推進会議を定期的に行き、当施設の取り組んでいる内容について報告し、そこでの意見を実際のサービスに活かしている。	コロナ禍になり、グループホーム内で集合する会議が難しいとの判断で、ここ数年は開催ができていない。書面での会議も行われていなかった。以前は、自治会長の方や地域包括支援センターの職員、家族などが参加され、定期的に開催はしていた。今後、開催していきたいと考えている。	会議を開催しない事で、グループホームの取り組みや状況を外部に伝える機会がない。グループホームが地域との関わりや外部との関わりを密にするためにも、会議は開催した方がよいと伝えた。感染症の対応などで大変ではあるが、工夫をしてもらい、家族や市町村、地域と連携を図っていく事を期待したい。

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	法人全体で連携を深めている。担当地区の地域包括支援センターとは密接に連携を取り、支援者の情報や受け入れ、研修会への参加、運営推進会議への参加など協力関係を築いている。	市町村とは主に法人が連携している。グループホーム自体との連携はここ最近はあるが、必要があれば連絡は取っている。町からは、研修の案内でグループホームを訪問されることはあり、良好な関係は築けている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止にはグループ全体で取り組んでおり、職員はよく認識している。身体拘束はない。玄関も施錠していない。	グループホーム内で定期的に研修は行っている。普段のケアでも目が行き届きにくい居室で転倒の可能性がある利用者に対して、居室を変更し、見守りをしやすいようにする等、拘束をしない対応策を考えている。外に行こうとされる利用者へは、玄関の施錠はせず付き添うようにしている。職員は外部の研修に参加することもある。スピーチロックなど気になる声かけをされる場合は、その都度職員へ話をしており、現在は気になる声かけもなくなった。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	機会を設けて、高齢者虐待防止関連法についての研修を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	機会を設けて、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度についての研修を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結時はもとより、家族には普段から希望などを気軽に伝えて頂けるよう、面会時に声をかけるよう心がけている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	希望などを気軽に伝えて頂けるよう、面会時に声をかけるよう心がけている。また、意見箱を設置し、意見を出しやすいよう配慮している。	面会は居室内でできることもあって、以前と比べると家族の訪問は若干増えている。これまでも、面会時には家族と話をし、意見や要望などを聞くようにしていた。入居前の生活を尋ね、情報を聞き対応することもあるが、運営に関しての意見はほとんどない。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議を月に1回、必要がある場合はその都度開いている。職員の意見を活発に交換し、ケアに取り入れている。	月に1回ある会議に限らず、管理者は職員の話を聞くようにしており、言いやすい関係を築けるように心がけている。ケアについて職員の意見は多くある。運営についての意見は、管理者だけでなく、理事長にも伝えられ、要望に応えられている。上司にも意見が言いやすい環境であり、良好な職員関係が築けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の努力や実績により、仕事を任せるなどしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な勉強会はもとより、日常の業務の中で職員が学べるよう、指導できる職員を配置している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は、機会を捉えて職員を研修会に出すなど交流の機会を作っている。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談を受けたら、可能な限り、本人に一度ホームに来てもらっている。その際に、本人の要望などを聞いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談を受けたら可能な限り、ホームに来てもらっている。その際に、本人の状態や家族の要望などを聞いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けたときに、現在の状況をできるだけ詳しく聞き、別のサービスが必要だと思う場合には、そのサービスを紹介している。必要に応じて具体的な施設を紹介している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	以前されていた仕事の話などを聞き、入居者様の得意分野のことを教えていただき、入居者1人ひとりが活躍する場面を作っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	誕生会や行事への参加を声かけし、本人と家族の絆を大切にして、共に本人を支えていく関係を築いている。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族にも協力してもらって、馴染みの場所や関係の継続に努めている。 家族等と電話で話すなどしている。	コロナ禍から落ち着き、関係継続の支援はこれからもっと活発にしていきたいと思っている。以前は、自宅の様子を見に行ったり、お墓参りなどの支援をしたり、手紙が届いたり、馴染みの方の来訪もあった。今は電話で話したりしている。グループホームでの活動の様子は、電話や面会時に伝えている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲の良い入居者同士の交流を促すため、席順等に配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用(契約)が終了しても、必要があれば支援を行う。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時の情報収集はもちろん、入居後も本人や家族の意向は機会のあるごとに聞いている。	一緒に時間を過ごす中で、本人の思いを把握するように職員にも伝えている。利用者はあまり希望は言われないが、時々お菓子を食べたい、外に出たいなどの意向を言われるため、個々の希望を叶えている。意向を言われない利用者は、状態を見て職員と対応を考えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報収集や、随時本人の病歴や生活歴、ADL(日常生活動作)の状況を詳しく聞いている。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前の情報収集や、随時本人の病歴や生活歴、ADL(日常生活動作)の状況を詳しく聞いている。日々の生活の中でも観察を行い、状態の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の意見を必ず聞き、意見や要望を計画書に反映している。	モニタリングは毎月行い、介護計画は初回は1ヶ月で見直しを行い、それ以降は半年ごとに見直している。カンファレンス前にご家族の要望を聞いている。意見は「おまかせします」などグループホームに委ねられる事が多いため、面会時の会話の中から情報を収集して計画に反映している。職員とも会議時だけでなく、日常のケアの中から話をしている。カンファレンスは面会時に行うか、電話で行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者個人個人のケース記録を作成し、よく観察するなどして記録することを心がけている。細やかな記録を残している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者の体調が悪化し、治療が必要な場合であっても、医療連携体制等により、治療を受けながら可能な限り入居を継続している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加したり、運営推進会議に地域の自治会長や民生委員に来てもらうなど、協力してもらっている。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の意向に応じて、それまでのかかりつけ医の診療を継続している。	希望をすれば、もともとのかかりつけ医にかかることはできるが、グループホームの経営が医療法人であり、24時間体制で対応できるため、かかりつけ医を変えられる利用者が多い。週1回の往診もあり、訪問看護も週2回あり、夜間は緊急で往診の対応もされる。医療体制が手厚いのは強みである。また、協力医がほとんど対応できることも利用者・家族の安心に繋がっている。協力医が対応できない他科受診は家族と協力しながら受診対応を行っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携をしている訪問看護の看護師と、随時情報交換をし、必要な指示をもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	状態が安定した時点で、退院に向けた話し合いを行う。関連病院の場合は特に、入院時の情報提供や早期退院に向けた話し合いが容易であり、協力関係を築いている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の対応の指針を作成し、入居時に確認をとっている。必要があれば、随時繰り返して説明し、変更があればすぐに対応している。	重度化指針は入居時に説明を行っている。看取りの状態になられた時は、主治医に説明をお願いし、入院するかグループホームで過ごされるか選んでもらっている。看取りを希望されれば、看取りはでき、これまでに経験もある。経験がある職員も多い。職員には研修も行っているが、その時の状態に応じて、対応や連絡方法などを周知している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の救急救命の研修は定期的に行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、防災避難訓練を行っている。訓練については、地震による火災、夜間を想定した訓練や消防署の指導の下での訓練も行っている。	避難訓練を年に2回と、風水害の訓練を行っている。ハザードマップ上では風水害の被害はほとんどない地域になっているが、もしの時は母体の介護老人保健施設へ避難することになっている。避難訓練では消防のアドバイスより、機械の操作などを教えてもらい、職員は周知できている。住宅地にあることから、以前より避難訓練に地域住民の参加や協力をお願いしたいと考えているが、まだできていないため今後に期待したい。備蓄品は米や水、レトルト食品を3日分準備している。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者は、「人生の大先輩である」ということを機会を捉えて繰り返し話し、尊厳を保つよう敬いの気持ちを忘れないようにしている。	管理者は利用者に対し、敬う気持ちを持って接するよう職員へ伝えている。プライバシーの配慮ではオムツ交換時は必ず扉を閉めて行っている。居室の扉も、日中はプライバシーのため閉めているが、夜間は事故のリスクの観点から開けている事もある。研修でも高齢者の権利擁護の話をしており、個人情報や大声で話すことは行っていない。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の入居者との会話の中で、選んでもらう場面を意識してつくり、意見を聞いている。担当職員を中心に個別に対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合や決まりを優先するのではなく、入居者の気持ちを優先にしたケアを心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居者一人ひとりに整容道具を用意しており、職員も個性を大切にした服装をさりげなく支援している。出張理美容を希望する人、外部の理容室を利用する人など、希望に応じて援助している。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの嗜好に応じて、メニューを変えている。利用者の状態に応じて、食事の準備や後片づけをしてもらっている。	管理栄養士の立てたメニューを基に、職員が買い物を行い調理を行っている。そのため利用者の苦手なものや状態に応じて、臨機応変に対応ができる。以前は特別メニューなども対応していた。利用者とは後片付けや皿ふきなどできる家事を一緒に行っている。おやつなども簡単なものを作ったり、誕生日ケーキなどを一緒に作ったりし、喜ばれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者一人ひとりの排泄チェック表を作り、排泄パターンの把握をしている。おむつ使用者も日中はトイレに誘導している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入居者一人ひとりの自立度に合わせて、毎食後の歯磨きと口腔ケアを支援している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者一人ひとりの排泄チェック表を作り、排泄パターンの把握をしている。おむつ使用者も日中はトイレに誘導することもある。	排泄のチェック表を作成し、一人ひとり把握することで、利用者に合ったタイミングで声かけ、誘導ができています。そのため、パットの汚染がなくなった利用者もいる。オムツやパット使用が、金銭的な負担になることを含めて、職員にはオムツ使用を減らすことを伝えている。そのため、職員から排泄のケアについての工夫・意見はよく出ている。共同のトイレは車いすでも十分に使用できるほど広々としており、清潔にされていた。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	1日2回ティータイムを行い、水分補給をしている。入居者の状態に応じて、四肢の運動や散歩等も行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入居者の希望に合わせて入浴支援をしている。入居者の要望によっては16時まで対応し、時間も本人のペースを尊重している。	現在は利用者が4名だが、土日以外はお湯を沸かしており、要望や体調に応じて臨機応変に対応できるようにしている。脱衣所も浴室にも複数名で入っても十分なほど広々としている。シャムプーなども個人のこだわりの物を使っている方もおられた。身体の状態が悪くなれば、特浴用のチェアも準備しており、安心して入られるようになっている。浴槽のお湯に浸かる為には浴槽をまたがないといけないが、自分でまたげない利用者は職員が抱えて対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝付きの悪い方には居間でお茶を飲んでもらったり、話し相手になったりして気持ちを落ち着かせ、ゆったりとした気分で眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理はホームで行い、その都度職員が手渡し、服薬を確認している。薬の内容は、処方されるたびに記録し、内容を把握している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者の持てる能力や希望に応じ、洗濯物を干したり、畳んだり、食事の声かけなどの役割を持ってもらい、ご自分の仕事と認識していただけるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に応じて、外出の支援をしている。散歩に出ることにより入居者の心の安心を図る場合もある。	グループホームの周りは車も少なく、安心して散歩ができるようになっており、近所への散歩は利用者の希望に沿って行っている。これからは季節も良くなっていくため家族にも協力をお願いし、外出支援やお墓参りを行っていきたいと考えている。外出できるよう、使用できる大型リフト車もある。中庭があり、利用者は時々外気浴を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は行っていないが、ホームの支払いがあるときは、入居者と一緒に支払いを行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者の方が手紙や電話を使いやすいように日常的に言葉掛けを行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレの表示を手作りで作成し、居間には手書きのカレンダーを設置して季節感を感じられるよう、家庭的な雰囲気配慮している。	全体的に木のぬくもりを感じられ、リビングは窓がたくさんあり、中庭からも光が差し、明るいリビングとなっている。キッチンからも利用者を見守りしやすい環境になっており、一角には小上がりもある。テレビも利用者が見やすいよう壁に掛けてあった。利用者はリビングで、ゆっくりと寛がれている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下を含む共用空間を広く取り、応接セットや食堂など、入居者が好きな場所を選べるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は広く取り、家具などの持ち込みは積極的に受け入れている。布団やベッドも持ち込みと貸し出しを選べるようにしている。入居者の写真など、馴染みの物を持ち込んでもらっている。	居室は木の扉でできており、出入口が広い。持ち込みの制限はなく、家具なども持ち込んでも良い事を伝えている。そのため、小さなタンスやテーブルを持って来られている方もいる。居室には洗面所やクローゼットも付いており、十分なスペースがある。布団や枕などは馴染みの物を持ち込まれている方もいる。アルバムや写真を持って来られる利用者もいて、自分の部屋という認識ができるようになっている。	

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレやお風呂等には手すりを設置して立ち上がりや移乗をしやすいようにしている。居室には名札を、入居者によって写真を貼って自分の部屋だと分かるようにしている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)		1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
		○	3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない